

AFC アジアカップ カタール2023 ご観戦の皆さまへの注意事項

令和 5年 11月 29日

開催期間：2024年1月12日から2月10日まで

AFC アジアカップ公式サイト：https://www.the-afc.com/en/national/afc_asian_cup/home.html

AFC公式チケットサイト：<https://asiancup2023.qa/en>

日本国籍を持つ方が観光等でカタールに短期間滞在される場合、カタール到着後ハマド国際空港における入国審査時に30日間の滞在許可が無料で取得できます。カタール入国に関する詳細情報につきましては、在日本カタール大使館等の管轄機関にてご確認ください。

在日本カタール国大使館（The Embassy of the State of Qatar in Japan）

〒106-0046 東京都港区元麻布2丁目3-28

電話：03-5475-0611/0613

HP：<https://tokyo.embassy.qa/en>

1. 保険

予期せぬトラブルや事故に備えて海外旅行保険へ加入してください。加入される海外旅行保険の規定・補償内容を確認し、旅行中の活動内容がカバーされていることをご確認ください。カタールの医療は充実しておりますが、保険がなければ高額な請求をされる可能性がありますのでご注意ください。

日本国内で処方 もしくは購入された薬の持ち込みに関しては日本の規定とは異なる可能性もありますので、詳細は在日本カタール大使館（電話：東京03-5475-0611/0613）にお問い合わせください。

2. カタールの法律と慣習

カタールはイスラム教国です。カタールの法律や慣習は日本とは大きく異なりますので、出発前にカタールの法律や慣習について理解を深め、敬意を持った行動をすることが求められます。モスクや祈禱室などの宗教的な場所においては特に行動や服装にお気を付けください。

露出の多い服装は避け、特に宗教的な場所、病院、博物館や政府関連施設を含む公共の場では、肩と膝が隠れた服装をご着用ください。ホテルのビーチやプールにおいては水着の着用が認められています。上記施設に関わらず、商業施設においても**服装によっては入場を拒否される場合があります**。

カタールでは、外交団地区や軍事施設、空港、政府機関庁舎、天然ガスパラント、治安関係機関、港湾施設等の重要施設を含む区域においては、当局の許可を得ない写真撮影は原則禁止されていて、治安当局は違反者に対して逮捕・勾留を含む厳しい姿勢で臨んでいます。例年、禁止場所を写真撮影したことにより旅行者等が警察官に拘束される事案が発生しています。カタール国内で写真撮影をされる際には、その場所が撮影禁止区域に指定されていないか、周囲に軍事施設等の重要施設が存在していないか等に十分にご注意ください。

カタールでは、写真を撮影されることについて保守的な人が多く、人物を撮影される際は十分注意が必要です。特にカタール人女性や他のアラブ人女性を無断で撮影することは、大きなトラブルの原因となります。トーブ（男性の着用する白い民族衣装）やアバヤ（女性の着用する黒い、全身を覆う衣装）を着た人々は、日本人からすれば珍しく、写真撮影をしてしまいがちですが、特に女性の場合は撮影前に必ず許可を求めてください。仮に風景等を撮影する場合でも、そこに女性が居る時には、その女性を撮影しているかのような誤解を与える行為は注意が必要です。

日本では合法である物品（豚製品、アルコール、宗教的偶像、ポルノ関連等）であってもカタールでは違法にあたります。これらの物品を**カタールに持ち込んだ際には厳しい罰則**が科せられますのでご注意ください。また、**到着後のハマド国際空港において高性能機器を使用した厳格な荷物検査を実施**していますので、禁止物品を持ち込むことのないように十分ご注意ください。

カタールでは同性愛は違法です。また、性別、性的指向、意図に関係なく、公の場での親密な行動はトラブルになる可能性がありますのでご注意ください。

3. アルコールと薬物

カタールでは認可されたホテルのレストランやバーのみでアルコールが提供されます。飲酒可能な年齢は21歳以上で、**公共の場での飲酒は禁止**されています。また、**カタールへのアルコールの持ち込みも禁止**されており、**到着後のハマド国際空港において高性能機器を使用した厳格な荷物検査を実施**しています。空港免税店にてお酒を購入、持ち込みすることもできません。

麻薬の所持・使用も禁止されています。少量を所持している場合も厳しい刑罰が科されます。麻薬に関する犯罪は一切許容されることなく厳しい刑罰が科されます。少量であっても麻薬の所持、使用、密売、密輸に対する刑罰は、長期の監禁刑、多額の罰金、国外追放の対象となります。

4. 防犯対策

アジアカップ開催期間中は、観光客を狙った窃盗、スリ、置き引きなどの発生が増加することが予想されます。スタジアム、レストラン、公共交通機関など狙われやすい場所では油断せずに周囲に気を配りましょう。荷物は必ずご自身の視界内に保ち、混雑する場所では、前に抱えるようにして所持してください。犯罪者は、一瞬の隙を見逃しません。また、人が多く集まる場所ではテロの可能性があるので以下の点にご注意ください。

- 目立たない服装を心がけ、高価な物は身につけない。
- 観戦時は置き引きに注意し、旅券や貴重品は肌身離さない。
- 不審な人・物を見かけたら、速やかにその場から離れる。

盗難・紛失の際には、盗難・紛失届を最寄りの警察署に届け、盗難・紛失証明書(Police Report)を入手してください。旅券(パスポート)の発給や保険会社に請求する際に必要となります。クレジットカードの盗難に遭った場合は、直ちにクレジットカード会社に連絡し手続きを止めてもらいましょう。

● 緊急にお金が必要なとき

以下の海外送金サービスを利用して日本から送金をしてもらうことができます。現金の受け取りには、旅券、送金番号と秘密の質問の答え（事前に送金者に要確認）が必要です。

★ ウェスタンユニオン (Western Union) 社：<http://www.westernunion.co.jp/jp/>

5. 旅券(パスポート)等の発行

旅券(パスポート)を盗難・紛失した場合には、在カタール日本国大使館にて「旅券」または「帰国のための渡航書」が発給できますが、申請には**旅券用写真、戸籍謄本も必要となりますので、万が一に備えて事前に準備されることをおすすめいたします。**必要書類を下記よりご確認ください。

● 旅券の再発給に必要な書類

- ・ 紛失・盗難証明書 (Police Report 警察が発行)
- ・ 紛失一般旅券等届出書 1 通
- ・ 一般旅券発給申請書 1 通
- ・ 写真 (縦 4.5cm×横 3.5cm) 2 葉
- ・ **戸籍謄本又は抄本** 1 通 (6 か月以内に発行されたもの)
- ・ 身元確認が出来る書類 (運転免許証など)
- ・ 手数料 (現金のみの取り扱い)

10 年旅券の手数料：421カタール・リヤル

5 年旅券の手数料：289カタール・リヤル (12 歳未満は 158 カタール・リヤル)

○ 所要日数：3 営業日 (必要書類が揃っている場合)

※ 必要書類が揃わない場合は7日から10日間かかる場合がございます。

● 帰国のための渡航書の発給に必要な書類等 (即日発行)

- ・ 紛失・盗難証明書 (Police Report 警察が発行)
- ・ 紛失一般旅券等届出書 1 通
- ・ 渡航書発給申請書 1 通
- ・ 写真 (縦 4.5cm×横 3.5cm) 2 葉
- ・ **戸籍謄本又は抄本** 1 通 (6 か月以内に発行されたもの)
- ・ 身元確認ができるもの (運転免許証等)
- ・ 帰国便の E チケットまたは日程表
- ・ 手数料：66カタール・リヤル (現金のみの取り扱い)

○ 所要日数：1～2 営業日 (必要書類が揃っている場合)

※ 必要書類が揃わない場合は2営業日以上かかる場合がございます。

※ 帰国のための渡航書は、旅券を紛失・盗難・焼失され、新規旅券の発給を待つことが出来ずに緊急に帰国する必要がある場合、また、直行便又はトランジットのみで日本に帰国する場合に限り発給可能です。第三国に滞在をすることは出来ません。

6. カタール国内での移動

ほぼ全てのスタジアムが首都ドーハ周辺に集中しているため、ドーハ中心部は各所において交通規制が見込まれ、大会期間中のドーハ及びカタール国内の移動は非常に混雑することが予測されます**スタジアムや空港までの移動手段や移動時間などは余裕を持ってご計画ください。**

カタールの道路事情は日本と比べ交通量も事故も多く、車線を守らない、ウインカーを出さずに突然曲がる、無理な割り込みや追越しを行う、横断歩道で止まらない、制限速度を大幅に超えて運転するなどの危険な行為が多く見受けられます。歩行者を含む事故が多数発生しておりますのでご注意ください。

タクシーやUberなどに乗車する際には、安全のため必ずシートベルトをご着用ください。

● 日本が発行する国外運転免許証について

カタールはジュネーブ条約締約国ではないため、**日本が発行する国外運転免許証ではカタールでの運転は不可**となっているにもかかわらず、車の貸出しに応じるレンタカー業者があります。事故の際には無免許運転とみなされ、高額な罰金や禁錮などの厳しい処罰を受ける可能性がありますので、公共交通機関をご利用ください。

7. その他 お役立ち情報

当館ホームページでは、カタールを訪れる旅行者の皆様に向けて お役立ち情報を掲載しております。下記リンクよりご参照ください。

https://www.qa.emb-japan.go.jp/itpr_ja/ryokou.html

在カタール日本国大使館 (The Embassy of Japan in the State of Qatar)

所在地：Building No.50, Street No.910, Zone No.66, New Diplomatic Area, Onaiza, Doha

電話番号：+974-4440-9000 (24時間対応、当館電話交換台は午前7:30 - 午後3:00)

Eメール：ejqatar@dh.mofa.go.jp

当館HP：<https://www.qa.emb-japan.go.jp>

開館時間：日曜～木曜 午前7:15 - 午後4:00

領事窓口：午前 7:30 - 午後 3:00